

韓国の試験ジックス

太宰府市国際交流員 金辛滋

みなさん、以前コラムで紹介した「わかめスープを食べる日はいつ?」を覚えて... 韓国では誕生日にわかめスープを食べますが、「ワカメは滑るから試験に滑ることがある」という説があり、試験日にはわかめスープを食べないと説明... 今回はその続きで、韓国の試験に関するジックスを紹介します。

韓国で一番大きな試験といえば、やはり「大学修学能力試験」、修能(수능)です。毎年11月の第3木曜日に行われ、本年は11月16日の予定です。なぜか試験の日になると他の日より急に寒くなることが多く、受験生の緊張した空気が集まったからだとする冗談のような意見もあるほどです。そこからできたジックスが「修能寒波(수능한파): 修学能力試験当日またはその近い日になると、とても寒くなり寒波が訪れる」です。

次は食べ物に関するジックスです。試験日に食べてはいけないものとして、前に紹介したわかめスープのほかに、お粥があります。なぜでしょう。その理由は、韓国では「お粥を炊く」ことが努力したことを台無しにし、失敗した時に使う比喩的表現でもあるからです。逆に試験の前に食べるとよい物には餛飩(ヨット)とか、大福(찰싹떡)があります。どちらも粘り強い食感が特徴で、「口にくっつくように、大学にもくっつく」という意味が込められています。

このようなジックスは大事な試験を控えた受験生たちの不安感と緊張感、そして切実さの現れでもあります。しかし、すべてのジックスがそうであるよう、あまりにも妄信すると、むしろ体調を崩してしまう場合もあるので、流されないのも大事ですね。

人権標語

人権キップ だれもが持っている 幸せキップ

水城小6年 (応募時) くが げんと 源士さん



かわさき じゅん こ 川崎 純子 (高雄区) 池坊

花材 ヤシの葉、クシカバラ、ピンクシミオン、けいとう、野ばら、すぐり

季節の生け花

太宰府市華道連盟

つれづれ

太宰府短歌会

管公の二十五日祭の孝の輪くぐりに 左右と三回渡る 都府樓南 猪俣 泰夫

紅葉のグラデーシオンあざらけし 苔むす庭に九年庵在り 五条 大穂 聡子

外つ国の人はずいと言ふらしい 季の移ひ告ぐる蝉声 観世音寺 大久保 富士子

幾そたび父在さばと恋ひをりて 七十余年は忽ちに過ぐ 五条 大敷 晶代

一年間つづきて大腿ストレッチ 十年の痺れの消ゆる右足 朱雀 黒木 邦枝

太宰府俳句会

持永 真理子 選

秋晴やあそび心の一日旅 東観世 中島 祝乃

露草に触れてやさしさとり戻す 五条 兼田 和加子

高原の秋カリヨンの屋告げる 国分 松尾 満子

秋晴の島にのびゆく白き橋 筑紫野市 幸田 はるみ

秋晴や予定なき日のスニーカー 水城 福永 恵美

飛梅句会

介弘 紀子 選

糸瓜棚残せしままの空家かな 星ヶ丘 江里口 幸生

日当りて芒野色の生まれけり 大佐野台 金丸 恵子

花芒風にもつれて風が解く 高雄台 川路 泰子

蟹路地の低き軒場や糸瓜棚 福岡市 工藤 友子

置いてきし魂風の芒原 朝倉市 古賀 紀子

宝満句会

菅井 久美子 選

戸締りの切戸重たき夕月夜 観世音寺 野田 杉子

夕月やそぞろ歩きの下駄の音 東ヶ丘 竹家 京子

無人駅一枝挿しある女郎花 青葉台 本山 晴子

女郎花阿蘇野は遠く雲流る 青葉台 平野 香

草莽の黄なる一群おみなへし 高雄台 荒島 由美子

都久志てんじん句会

佐々木 甘露子 選

沸騰の地球に生きて法師蝉 福岡市 宮津 英里子

露草の露ころろと白むそら 福岡市 塩飽 たか子

盆の月父に句集を届けたり 小都市 貞金 志帆

父母と円卓囲む夕蝸 福岡市 北川 朴洋子

朝顔や九九そらんずる路地の声 青葉台 彦坂 正亨

太宰府川柳倶楽部

小池 一恵 選

延命は遠慮しますと子に伝え 筑紫野市 吉田 敬子

種ありのぶどうに意地をのせている 都府楼 杉 良子

売り急ぐ声に財布も緩み出す 観世音寺 河原 明子

蒔いた種拾い集めに遍路旅 星ヶ丘 武末 次生

雲行きが怪しいお茶を入れ替える 国分 岸本 しずえ